

環境に係る情報協議会

国営施設応急対策事業 篠津青山地区

1. 環境に対する考え方

(「当別町田園環境整備マスタープラン」から)

《農村環境の現状と課題》

【現状】

当別町の河川はすべて石狩川水系で、最終的に石狩川に流入し日本海に注がれる景観豊かな町である。また、本町の地形は高い山や険しい山がなく、大規模な土砂の崩壊の事例が少ないものの融雪時、異常降雨時における農地災害や河川による浸水等が見られる地域がある。

【課題】

当別町を流れる石狩川水系を、恵みと豊かな母なる川として流域の歴史と文化を生み、地域の生活基盤を支えているという基本理念に基づき、親水機能・景観性の整備促進や自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した河川や農業用排水路の改修を目指す。

《環境保全の基本的考え方》

- ・地域特性を活かした基盤整備を推進する。
- ・自然環境に配慮した基幹水利施設の改修を推進する。

2. 環境配慮計画

《基本方針》

青山ダムの工事において、生物の生息環境の保全への配慮を図る。

《取り組み内容》

【生態系への配慮】

- ・工事実施前は、猛禽類の生息調査及び営巣の確認を行う。営巣が確認された場合は、工事に用いる施工機械の騒音による営巣への影響が懸念されるため、繁殖時期を避けた施工時期として設定し、低騒音型の施工機械を使用する。
- ・当別川には良好な水質環境を必要とする希少な生物が生息していることから、濁水流出の抑制に向けた濁水処理施設を設置し、濁水処理を行う。